

様式第 1 号

2023 年 6 月 19 日

沖縄県知事 殿

沖縄県中頭郡北谷町伊平 2-4-5
専門学校 沖縄ブライダルモード学園
校長 新垣 紀子



大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	専門学校 沖縄ブライダルモード学園
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ 専門学校)
大学等の所在地	沖縄県中頭郡北谷町伊平 2-4-5
学長又は校長の氏名	校長 新垣 紀子
設置者の名称	新垣 紀子
設置者の主たる事務所の所在地	沖縄県中頭郡北谷町伊平 2-4-5
設置者の代表者の氏名	新垣 紀子
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.bmg.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	校長 新垣 紀子 教務 山川 邦子	098-923-2428	top@bmg.ac.jp
第2号の1	教務 松村 明日香		
第2号の2	教務 山川 邦子		
第2号の3	教務 山川 邦子 教務 松村 明日香		
第2号の4	教務 山川 邦子		

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード		学校名	専門学校 沖縄プライダルモード学園
設置者名	新垣 紀子		

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	33,020,900円	30,748,733円	2,272,167円
申請2年度前の決算	36,265,899円	31,945,497円	4,320,402円
申請3年度前の決算	45,068,628円	32,794,567円	12,274,061円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	148,804,228円	50,327,217円	98,477,011円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	50人	31人	62%
前年度	50人	38人	76%
前々年度	55人	45人	81%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
預金	銀行預金	46,889,295円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
借入金	建物取得費	40,000,000円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 沖縄ブライダルモード学園
設置者名	新垣 紀子

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	ブライダル リゾート科	夜・通信	2,270 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校 HP : <https://www.bmg.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校 沖縄プライダロード学園
設置者名	新垣 紀子

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	BMG サポーターズ
役割	学校自己評価及び学校関係者評価結果を基に学校運営等を確認、課題改善策を審議し、学校長に対し助言及び提言を行う。実践的な職業教育の質を確保する為、外部人材の意見を反映することを目的とした委員会とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
元高等学校校長	2022年～2025年	学校運営及び教育全般に対するアドバイザー
名護市人権擁護委員会理事	2022年～2025年	地域、家庭環境に対する教育に関するアドバイザー
専門分野関連業 代表取締役社長	2021年～2024年	教育課程及び進路指導に関するアドバイザー
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 沖縄ブライダルモード学園
設置者名	新垣 紀子

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教職員及び外部講師、関連企業関係者との教育課程編成委員会を設け、学校スケジュール含む授業計画等を策定し時代にあった教育内容を決定する。それぞれの専任講師において授業シラバスを作成。その授業計画書は一覧にし、新年度の学生オリエンテーションにて各学年の学生へ配布。またその計画書は毎年7月頃学校HPにて公開。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学校HPにて公開 https://www.bmg.ac.jp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員及び各授業科目専任講師が作成する筆記試験又は実技試験その他提出物等を各学期末及びその授業が必要とする時期に習熟度を把握する為に実施する。 ・学期ごとの専門科目総合評価においては、試験評価、出席状況、取組み姿勢を含む判断とし相対評価で行う。評価基準は学校が定める評価基準で行う。 ・成績不可評価の学生に対しては、教務と各担当科目専任講師が検討を行い、必要な補修を行う。その方法として再試験又はそれに準じたレポート等の提出をすることで修得につなげる。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の基準として

- 1、各科目授業での筆記試験、実技試験、理解度テストの実施は、習熟度を把握することを目的とし実施する。評価基準は以下とする。

評価基準

評価表示	秀	優	良	可	不可
試験評価	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下
その他の評価					

科目評価基準

評価合計	試験評価	出席率	取組み姿勢
100点	60点	20点	20点

- 2、不可評価に関しては、レポート又は再テストを実施し、70点以上を合格基準とし再評価を行うものとする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校HP公開
<https://www.bmg.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

所定の課程を修了した者について平素の成績、出席状況及び性行を斟酌し専門士称号を付与し卒業を認める。又、校長は所定の全課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

卒業認定条件は以下とする

- 1、判定時期・・・2月初旬に最終判定を行う
 - 2、履修時間・・・1700時間以上履修していること
 - 3、成績・・・年平均60点以上を修得していること
 - 4、授業料等の納付・・・卒業までに全納であること
- 以上の条件を満たしている事とする。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校HP公開
<https://www.bmg.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 沖縄ブライダルモード学園
設置者名	新垣 紀子

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.bmg.ac.jp 学校HPへ公開
収支計算書又は損益計算書	https://www.bmg.ac.jp 学校HPへ公開
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養	ブライダルリゾート科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	613 単位時間	1013 単位時間	644 単位時間		
			2270 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		31人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教務関係者及び外部講師、関連業界関係者との教育科目編成委員会を設け、学校スケジュールを含むカリキュラムに関する授業計画書を作成しそれぞれの専任講師において、授業シラバスを作成。その年間授業計画表を一覧にし、オリエンテーション時に新入生及び在学生へ配布

成績評価の基準・方法

（概要）

- 1、各科目授業での筆記、実技試験、理解度テストは、習熟度を把握する為に各学期、科目ごとに実施する。
- 2、不可評価に関しては、レポート又は再テストを実施し、70点以上を合格基準とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

所定の課程を修了した者について平素の成績、出席状況及び性行を斟酌し専門士称号を付与し卒業を認める。又、校長は所定の全課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

学修支援等

- ・独自奨学金制度・・・学費免除型奨学金制度を設けている
- ・学生マンション完備（女子学生のみ）
- ・学生相談支援・・・担任、副担任制を導入しており、学習面、生活指導等を行う
- ・学費支払い支援・・・家庭状況により支払い方法の相談を受け納入を確実化する

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (%)	17人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、ホテル業界、ジュエリー業界、			
(就職指導内容) 業界理解、企業研究、インターンシップ、面接指導、SPI 対策、就職支援等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・BIA ブライダルコーディネーター技能検定（国家資格） ・全米ブライダルコンサルタント協会主催 ブライダルプランナー検定 ・衣装コーディネーター検定 ・着付け講師認定試験 ・パソコン（Word、Excel）検定 など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	2人	5.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別相談、進路相談、卒業生講話、保護者との三者面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ブライダル リゾート科	100,000円	650,000円	230,000円	その他に関する費用 (教材費・検定試験料・施設 使用料・研修費・学習活動費 学生保険等)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP にて公開 https://www.bmg.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校は実践的な職業教育の質を確保するため学校自己評価を評価することを目的とした委員を置く。その【学校関係者評価委員】の評価結果をもとに、学校運営や教育課程の活動に反映させる。 構成委員はおおむね3名とし、次にあげる者の内から校長が委嘱する。 1, 卒業生 2, 保護者 3, 業界関係者 4, 顧問税理士 5, 教育及び学校運営関わる有識者 自己評価及び学校関係者評価は年度末に開催し、けっかは新年度7月頃に学校ホームページにて公開する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
税理士事務所所長	2021年～2023年	学校財務関係
専門分野関連企業 代表取締役	2022年～2024年	業界関係者
卒業生	2022年～2024年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP にて公開 https://www.bmg.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校情報は学校 HP にて公開 https://www.bmg.ac.jp
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	
学校名	沖縄ブライダルモード学園
設置者名	新垣 紀子

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		18人	17人	18人
内 訳	第Ⅰ区分	9人	12人	
	第Ⅱ区分	5人	4人	
	第Ⅲ区分	4人	1人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				18人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	
3月以上の停学	
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	
訓告	
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。